

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚園

With or without Corona

慶應義塾ニューヨーク学院は全生徒の9割以上がキャンパス内の寮にて寝食を共にする寮制の学校である。生徒は男女別、6つの「ハウス」と呼ばれる棟に分かれ、24時間仲間と共に過ごしながら日々の生活を送る。朝から晩まで友人と過ごす時間を「毎日が修学旅行」のようだと形容する卒業生も少なくない。密な人間関係があふれる風景だが、新型コロナウイルスはその様子を一変させた。

教育現場においてのコロナ対策と一口に言っても、その対策は現場の環境によって違い、課題もさまざまである。本校のコロナ対策の一番の難しさは、本来分けて考えることができる公私の「私」の部分でも生徒へ制限をお願いせざるを得ないことだった。例えば、寮生にとって、くつろぎの場となるべきハウスの廊下や共有スペースではマスク着用が義務付けられ、自室にはルームメイト以外の級友を呼ぶことができない時期もあった。共同利用のシャワーや食堂でも一度に使用できる人数に制限が加えられた。

生徒は「コロナだから」という一言により、さまざまな場面において憧れていた高校生活とはかけ離れた場面に直面することが少なくなかった。しかし、そのような状況下



においてもふてくされ投げやりにならず、前向きに、与えられた環境を最大限に活かすことに注力した。特に最上級生が発揮したリーダーシップは特筆すべきものがあつた。生徒が企画・運営する放課後や週末のさまざまなイベントも小規模なものから徐々に成功を積み重ねていく。最終的には例年4月中旬に行われていた、一度は開催すら危ぶまれた文化祭(祥風祭)も、開催時期をずらし、年度末に近い5月末、来客を迎える形で、開催することができた。

これらの生徒主催型のイベントは本校において生徒の成長を最も促すものであると思う。準備する作業を通じて、意見を交換し、時にぶつかり、難しさを感じ、共に迷いながら生徒は成長する。それはいざれ他者への配慮や心遣いへと変わり、大きな意味での人間的な成長へとつながる。

2020年よりさまざまなことが制限され、時には縮小したり、延長されたり、中止せざるを得ないこともあつた。しかし、全世界に猛威を振るつたコロナウイルスですら、生徒の成長を止めることはなかった。

コロナがあろうが、なかろうが、ニューヨーク学院はニューヨーク学院らしさを失わなかった。しなやかに巣立った卒業生の活躍はもちろん、その後ろ姿を見た後輩たちの活躍が楽しみだ。

◎ニューヨーク学院(高等部) 主事 山本富夫 やまもととみお